

特別企画： 中国地方 新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査

(2021 年 10 月)

「マイナスの影響あり」、65.9%に低下 コロナ感染縮小により 2020 年 3 月以降で最も低く

はじめに

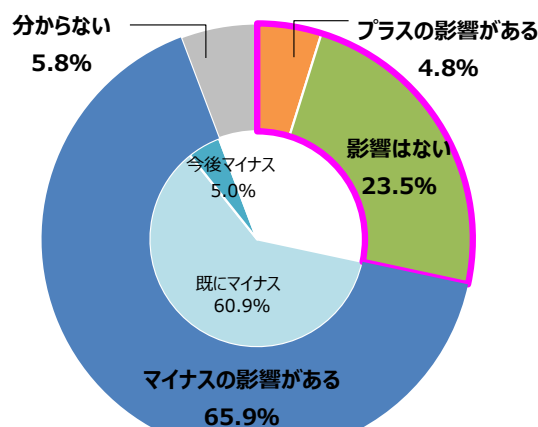
新型コロナウイルスの新規感染者数は、8 月 20 日に 1 日当たりの新規感染者数が全国で 2 万 5000 人を超えて過去最多を更新するなど、第 5 波と呼ばれる爆発的な感染が拡大した。この間、発出された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は、新規感染者数の減少に伴って 9 月末をもって全国で解除され、その後も感染の縮小傾向が続いている。

今後、感染拡大の第 6 波の懸念はあるものの、行動制限の解除やワクチン接種の普及により、これまで落ち込んでいた飲食、宿泊、交通、娯楽などの業界における個人消費を中心とした経済活動の持ち直しの動きが強まってきている。さらなる本格的な景気回復が期待されるなか、新型コロナウイルス感染症が与える企業業績への影響はどのようなのだろうか。

帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2021 年 10 月調査とともに行った。

※調査期間は 2021 年 10 月 18 日～10 月 31 日。調査対象は中国地方に本社を置く企業 1516 社で、有効回答企業数は 642 社（回答率 42.3%）。本調査は 2020 年 2 月から毎月実施。

■新型コロナウイルス感染症による業績への影響



調査結果（要旨）

1. 新型コロナウイルス感染症による業績への影響、「マイナスの影響がある」が 65.9%、2020 年 3 月以降で最も低く。経済活動の持ち直しの動きが進み、「マイナスの影響はない」は調査開始以降で最も高い 23.5%に

1. 業績に「マイナスの影響あり」65.9%、2020年3月以降で最も低く

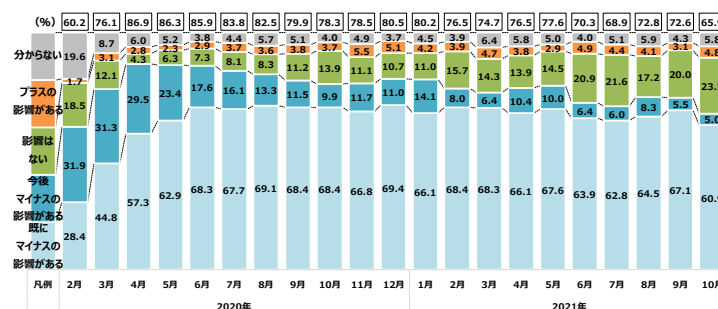
新型コロナウイルス感染症により自社の業績にどのような影響があるか尋ねたところ、「マイナスの影響がある」（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）と回答した企業は642社中423社で、構成比は65.9%となり3ヵ月ぶりに7割を下回り、2020年3月以降

で最も低かった。内訳は、「既にマイナスの影響がある」が60.9%（391社）となり、2020年5月以降で最低となった。「今後マイナスの影響がある」は5.0%（32社）となり、調査開始以降で最も低かった。一方、「影響はない」とする企業は23.5%（151社）で、調査開始以降で最も高くなった。「プラスの影響がある」（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）は4.8%（31社）だった。なお、「分からない」は5.8%（37社）だった。

「マイナスの影響がある」と回答した企業についてみると、規模別では、『大企業』（構成比68.5%・63社）、『中小企業』（65.5%・360社）、『小規模企業』（62.1%・100社）の順に高かった。業種別（母数10社以上）でみると、『運輸・倉庫』（構成比81.3%・26社）が最も高く、『卸売』（68.6%・116社）、『小売』（67.5%・27社）が続いた。中国5県別でみると、『鳥取』（構成比75.0%・30社）が最も高く、『広島』（68.9%・173社）、『岡山』（68.8%・110社）が続いた。

■新型コロナウイルス感染症による業績への影響（2021年10月）

■新型コロナウイルス感染症による業績への影響



注1：掲載調査の母数は、有効回答企業642社

注2：棒グラフの縦軸は「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計

注3：「プラスの影響がある」は「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計

注4：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%とはならない

	プラスの影響がある	既にプラスの影響がある	今後プラスの影響がある	影響はない	マイナスの影響がある	既にマイナスの影響がある	今後マイナスの影響がある	分からない	合計
全国	5.9 (674)	2.7 (304)	3.3 (370)	22.4 (2,536)	66.6 (7,548)	61.7 (6,990)	4.9 (558)	5.1 (574)	100.0 (11,332)
中国	4.8 (31)	2.3 (15)	2.5 (16)	23.5 (151)	65.9 (423)	60.9 (391)	5.0 (32)	5.8 (37)	100.0 (642)
大企業	5.4 (5)	3.3 (3)	2.2 (2)	22.8 (21)	68.5 (63)	63.0 (58)	5.4 (5)	3.3 (3)	100.0 (92)
中小企業	4.7 (26)	2.2 (12)	2.5 (14)	23.6 (130)	65.5 (360)	60.5 (333)	4.9 (27)	6.2 (34)	100.0 (550)
うち小規模	5.0 (8)	1.9 (3)	3.1 (5)	26.1 (42)	62.1 (100)	55.9 (90)	6.2 (10)	6.8 (11)	100.0 (161)
農・林・水産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	75.0 (3)	75.0 (3)	0.0 (0)	25.0 (1)	100.0 (4)
金融	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	66.7 (2)	66.7 (2)	0.0 (0)	33.3 (1)	100.0 (3)
建設	1.1 (1)	0.0 (0)	1.1 (1)	35.2 (31)	54.5 (48)	44.3 (39)	10.2 (9)	9.1 (8)	100.0 (88)
不動産	10.0 (1)	0.0 (0)	10.0 (1)	40.0 (4)	50.0 (5)	50.0 (5)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (10)
製造	6.7 (14)	2.9 (6)	3.8 (8)	20.5 (43)	67.1 (141)	63.3 (133)	3.8 (8)	5.7 (12)	100.0 (210)
卸売	2.4 (4)	0.6 (1)	1.8 (3)	21.9 (37)	68.6 (116)	63.9 (108)	4.7 (8)	7.1 (12)	100.0 (169)
小売	20.0 (8)	12.5 (5)	7.5 (3)	12.5 (5)	67.5 (27)	65.0 (26)	2.5 (1)	0.0 (0)	100.0 (40)
運輸・倉庫	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	18.8 (6)	81.3 (26)	81.3 (26)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (32)
サービス	3.6 (3)	3.6 (3)	0.0 (0)	30.1 (25)	62.7 (52)	55.4 (46)	7.2 (6)	3.6 (3)	100.0 (83)
その他	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)	100.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
鳥取	2.5 (1)	0.0 (0)	2.5 (1)	15.0 (6)	75.0 (30)	70.0 (28)	5.0 (2)	7.5 (3)	100.0 (40)
島根	4.2 (3)	2.8 (2)	1.4 (1)	29.6 (21)	57.7 (41)	56.3 (40)	1.4 (1)	8.5 (6)	100.0 (71)
岡山	6.9 (11)	4.4 (7)	2.5 (4)	16.9 (27)	68.8 (110)	64.4 (103)	4.4 (7)	7.5 (12)	100.0 (160)
広島	4.4 (11)	1.6 (4)	2.8 (7)	22.7 (57)	68.9 (173)	61.4 (154)	7.6 (19)	4.0 (10)	100.0 (251)
山口	4.2 (5)	1.7 (2)	2.5 (3)	33.3 (40)	57.5 (69)	55.0 (66)	2.5 (3)	5.0 (6)	100.0 (120)

注1：網掛けは、中国地方以上を表す

注2：全国の母数は、有効回答企業1万1,332社。中国は642社

【企業からの声】

- ・持続化給付金などの支援で新事業にチャレンジでき、業績が改善した（**（その他サービス・広島）**）
- ・顧客との直接折衝が難しいため、案件の進みが通常より遅い（**（化学品卸・岡山）**）
- ・ワクチン接種者の増加による感染縮小は良いが、感染の恐れはあり不安だ（**（飲食料品卸・広島）**）
- ・アパレル分野の需要減退により業績が悪化（**（金属製品製造・広島）**）
- ・ワクチンパスポートを活用して経済を回さないと、世界に置いて行かれる（**（運輸・広島）**）
- ・コロナ感染による直接的な影響はないが、間接的に部品供給が不足して減産傾向が続く見込み（**（輸送用器具製造・広島）**）
- ・企業における転勤に伴う住宅需要の回復テンポが鈍い（**（不動産・広島）**）
- ・コロナ禍の緩和による世界的な経済回復に伴い、原材料相場が高騰（**（飲食料品製造・広島）**）
- ・なかなか回復の兆しが見えず、2 年連続で営業赤字が続くそう（**（建材卸・山口）**）
- ・大手企業の情報化投資の抑制は続くと思われ、受注が減少している（**（情報サービス・広島）**）
- ・今年の 4 月～7 月を底に売り上げが戻っているが、回復力は弱い（**（看板製造・岡山）**）
- ・コロナの悪影響は感じなくなったが、半導体不足の影響が大きい（**（輸送用器具製造・岡山）**）
- ・営業体制、生活スタイルの変化で業績がコロナ禍前の水準に戻らない（**（広告関連・島根）**）
- ・イベント関連が元に戻るか不明（**（放送業・島根）**）

まとめ

全国で過去最多の新規感染者数を更新した第 5 波の影響を受け、広島県と岡山県にも発出されていた緊急事態宣言が解除された 10 月の調査で、中国地方では新型コロナウイルス感染症で、60.9%の企業が自社の業績に「既にマイナスの影響がある」と回答した。また、「今後マイナスの影響がある」と回答した企業は 5.0%にとどまり、これらをあわせた「マイナスの影響がある」は 65.9%となり、2020 年 3 月以降で最も低くなった。新規感染者数が大幅に減少し、多くの業界において通常営業が再開されたことなどで企業業績に与えるマイナスの影響が緩和したようだ。

10 月 25 日には国内の新規感染者数が昨年 7 月 6 日以来、200 人を下回るなど近時減少基調が顕著となっている。接種希望者へのワクチンの普及に加え、営業時間短縮の要請解除、飲食店でのクーポン配布などで個人消費の本格回復に期待がかかるものの、第 6 波の懸念に加え、感染拡大の副反応ともいえる資源高、供給体制の混乱などがあり、先行きに対して慎重な見方が続くだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 広島支店情報部 担当：藤井・松岡
TEL：082-247-5930 FAX：082-249-1242

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。